

## テラヘルツテクノロジーフォーラム通信

Vol.11 , No.1

国際シンポジウム「テラヘルツテクノロジーの最前線」(FTT 2012) 開催報告

FTT 2012 議長 萩行 正憲 (hagnyo@ile.osaka-u.ac.jp)

日本学術振興会、テラヘルツテクノロジーフォーラム、および、福井大学の共同主催による国際シンポジウム「テラヘルツテクノロジーの最前線」(International Symposium on Frontiers in Terahertz Technology, FTT 2012)が、2012年11月26日(月)から29日(木)に奈良市東大寺総合文化センターにて開催されました。この会議は、テラヘルツテクノロジーの基礎技術から産業応用までの幅広い領域での現状の認識と議論を行い、将来展望を明らかにすることを目的とするものです。震災の影響で当初予定よりは遅れて開催されましたが、発表件数141件(基調講演6件、招待講演29件を含む)、参加者総数225名(国外39名、国内186名)で、予想を超える盛況であり、参加者からの評判も上々でした。招待講演は、テラヘルツテクノロジーの各分野の最先端で活躍する研究者により行われ、エキサイティングな質疑応答がなされました。一般講演は、一部口頭発表で、多くはポスター発表となりましたが、ここでも大変活発な議論が行われ、特に我が国のテラヘルツテクノロジーのアクティビティの高さが示されました。協賛企業による展示も行われるとともに、若手研究者の奨励と育成を目的として、Student Presentation Award を設け、会議において優秀な発表を行った学生4人に対して賞が授与されました。また、この分野における学術的な貢献、およびコミュニティ形成や産業応用を目指した活動への寄与が大きい個人の業績を顕彰するためにテラヘルツテクノロジー貢献賞が設けられ、会議中のバンケットにおいて選考委員長の X.-C. Zhang 教授から受賞者の阪井清美氏(テラテク会長)にメダルが手渡されました。

この会議は、学振、テラテク、NICT などの助成を得て行われましたが、組織委員会、プログラム委員会の皆様には、開催に際して大変なご努力をいただきました。この場を借りて、これらの方々と参加者の皆様にお礼を申し上げます。Journal of Infrared, Millimeter and Terahertz Waves に、このシンポジウムの特集号が出る予定となっております。シンポジウムについては、今後も続ける方向で議論が進んでいることを申し述べておきます。なお、詳細につきましては、ホームページ (<http://www.ftt2012.com/>)で見ることができます。

